

市町村避難所運営研修

■受講対象者

- 防災・危機管理担当職員、福祉担当職員、避難所（割当）担当職員

■研修のねらい

- 大規模災害が発生したら市町村職員は、被災者でありながら割り当て避難所を開設しなければならない。

避難所では、少人数の職員で多くの課題や問題が突発的に発生する。実際の避難所運営からの「熊本地震に学ぶ避難所運営のポイント」を学び、何時発生するか分からない大災害に対して備える。

■講師紹介

堀田 直孝 氏（元西原村税務課長）

- 全国の自治体での防災公演、県内外の小中学生への防災講話等の防災教育など数多く実施。
- 本協議会での研修実績
 - ・税徴収事務研修（H25～）



■研修内容（予定）

- 避難所における以下の課題・問題の打開策を実際に行われたモデル避難所の事例を基に学ぶ。
 - ①組織づくり ②名簿の作成 ③食料・物資の受入れ、配給 ④炊き出し、ごみ、トイレ、ペット、風呂 ⑤ボランティアの受入れ ⑥取材・問合せ対応など
- 二者択一選択のクロスロードゲームを体験し、大災害に備える知識を身に付ける。

■カリキュラム

9:00 9:15 9:30 12:00 13:00 16:30

受付	オリエンテーション	クロスロード体験による課題・問題解決	昼食	避難所運営のポイント
----	-----------	--------------------	----	------------

■研修の概要

持参物、事前課題等は研修協議会ホームページで御確認ください。

【日程】 令和5年 5月26日（金）

【定員】 72人

【会場】 熊本県市町村自治会館別館 2階 会議室

【申込期限】 令和5年 4月21日（金）